

令和6年度第1回宗像市景観審議会議事録

令和6年6月24日（月）14:00～15:00

宗像市役所1階 103B会議室

■出席者

委員	出欠	委員	出欠	委員	出欠
◎日高 圭一郎	出	○柴田 久	欠	大方 優子	欠
神島 亘	出	嶺 俊光	欠	立部 瑞真	出
上野 紀昭	出	野田 聖子	出	吉井 勝敏	出
梅田 芳徳	出	諸麥 加奈子	出		

◎印は会長、○印は副会長

1. 開会

2. 議事録作成方法及び会議の公開について

- ・議事録作成方法は、発言者の発言ごとの要点筆記とする。
- ・本審議会は公開とし、傍聴を認める。

3. 景観審議会について

4. 景観計画の変更について

○景観まちづくりプランと景観計画の統合について

（事務局）景観まちづくりプランと景観計画の統合について説明

— 質疑応答 ・ 意見交換 —

・景観まちづくりプランと景観計画を別々に策定した経緯はあるか。景観計画を策定した際に、景観まちづくりプランを景観計画に集約することが一般的であるように感じる。

（事務局）まず理念を固める必要があるため、景観まちづくりの理念を景観まちづくりプランの中で先行して策定し、その後、具体的な景観計画を策定した。景観計画を策定する際に、近隣市町村のように景観まちづくりプランを廃止し、景観計画と統合するという選択肢もあったが、宗像市は景観まちづくりプランを残した状態で景観計画を策定した。

・景観まちづくりプランと景観計画が別にあることで、これまでに、市民や事業者から「わかりにくい」などの意見はなかったか。

（事務局）運用において「わかりにくい」というご意見もあったため、今回の見直しにおいて、景観まちづくりプランと景観計画を統合し、わかりやすい運用としたい。

- ・景観まちづくりプランと景観計画を統合し、わかりやすくした方がよいと感じる。

○作成方法について

(事務局) 作成方法について説明

— 質疑応答 ・ 意見交換 —

・アンケートの回収率が高く設定されているが、回収率に不安がある。数年前に学生が、玄海・大島地域を対象に世界遺産に対する意識調査を実施した際に、個別訪問を行い、アンケートを回収したが回答率は低かった。郵送のみの回収方法で、回答数を得ることができるか不安に感じている。

(事務局) 回収率は毎年実施している市民アンケートの回収率を参考に、設定している。今回の調査は、玄海・大島地域を対象に 1,500 通を送付しており、それなりの回答数を得ることができると想定している。また、窓口業務ではわからない、自由記述のご意見も参考にしていきたい。サンプル数が少ない場合には、コミセンを通じて回収を行うなど、協力をお願いするかもしれない。

・アンケート調査の対象地域は高齢者が多く、調査の煩雑さを面倒に感じ、アンケートに答えない傾向があると感じている。協力できる部分は協力していきたい。

・アンケートの実施方法は、郵送での配布や回収を想定しているのか。

(事務局) 返信用封筒を同封した上で、郵送だけでなくオンライン回答も可能にしている。

・回収率が低かった場合は、コミセン等への協力依頼を検討されたい。

— 総括 —

(会長) 景観まちづくりプランと景観計画を統合し、策定する。策定方法やスケジュールも、事務局の提案で問題ない。またアンケートの回収については、状況に応じて適宜検討をお願いしたい。本日の意見を踏まえて事務局で進めていただきたい。

5. その他

(事務局) 次回以降の審議会は、8月・10月・12月・2月に開催することを予定している。

6. 閉会